

都心のお花見 外濠公園～千鳥ヶ淵

企画委員会

コロナ緊急事態宣言が解除されてはいましたが、マスク着用や三密を避けるなどの万全の体制での観桜でした。快晴の下、この指とまれ方式で集まり、三々五々都心の満開の桜を愛でました。

江戸城の外濠に映える桜や千鳥ヶ淵のこの世を謳歌する満開の桜、そして戦没者墓苑の密やかな桜などそれぞれの趣を楽しみました。

日時：2021年3月26日（金）日帰り

集合：JR市ヶ谷駅 改札外 10時30分

解散：JR飯田橋駅 12時10分

費用：現地往復交通費、飲物など 各自支払

参加者：この指とまれ方式

リーダー：

順路：集合；JR市ヶ谷

駅改札外→江戸城外濠公園

→靖国通り→千鳥ヶ淵

→戦没者墓苑→内堀通り→

靖国神社→大村益次郎銅像→東京大神宮→JR飯田橋

駅→解散 有志のみ→神楽坂散策と昼食

昼食 解散後有志にて

散策：2時間弱（13,000歩）

観桜：千本（ソメイヨシノ、ヤマザクラ、枝垂れ）

他にモクレン、スオウ、菜の花（黄色、紫色）

国指定史跡・江戸城外堀跡の公園（通称土手公園）

市ヶ谷駅付近から飯田橋駅方向に、細長く続く土手上の公園の緑道の両側に桜が満開でした。土手の直下では総武・中央線の新型電車が軽やかな音を響かせて行き交い、外堀を挟んで向かい側にも桜が点々とあり、水面に映る風情は絶景の極みでした。



靖国通り

JR市ヶ谷駅から靖国神社がある九段上に向かっての通りが、靖国通りです。車の往来がひっきりなしですが、その排ガスにめげずに咲き誇っている感、大でした。靖国通りから分かれる横道の桜も、満開でした。サクラ、サクラのオンパレードでした。



千鳥ヶ淵（江戸城内堀）

内堀の外側が桜散策の名所になっていて、この日も多くの花見客がそぞろ歩きをしていました。内堀の向こうは一段と土手が高くなっていて、その奥が皇居です。内堀の両岸の桜の枝が水面近くまで伸びていて、これも鑑賞美でした。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑

千鳥ヶ淵の散策道を九段上からしばらく進むと、右側に墓苑の入り口がありました。碑の後ろにある枝垂れ桜は密やかにしかししっかりと咲いていました。ここは環境省所管の国民公園です。



大村益次郎銅像（靖国神社）

靖国神社は戊辰戦争で亡くなった人たちの霊を祈る場所として創建され、この場所の選定に大村益次郎が奔走しました。

長州藩の奇兵隊の生みの親が高杉晋作で、育ての親が大村益次郎です。彰義隊との戦いの上野の方を向いて、建てられていました。



東京大神宮（縁結びの神社）

正月の初詣で有名な、縁結びの御利益のある神社です。東京のお伊勢さまです。この日も参拝客が大勢でした。

手水の近くにアルコール消毒液が置いてあるのが、コロナ禍の風物詩でした。



有志昼食 神楽坂でビール、ワイン、ピザ、サラダ

正午時点での解散し、有志でコスパ抜群の昼食を、思い思いに摂りました。ワールドステイクラブのもう一つの楽しみのアフターでした。